

平成31年度

イベント日程

野草園プレオープン

平成31年3月30日(土)・31日(日)、開園日 4月1日(月)

無料開放日

5月4日(土)〈みどりの日〉・7月7日(日)〈市制施行130周年記念〉

65歳以上無料

9月16日(月)〈敬老の日〉

※都合により日程や内容の一部が変更になる場合があります。



そり滑り



薬草と薬膳を楽しむ健康ウォーキング



カブトムシの育て方教室

展 示	
野草園写真展(紅の蔵)	4月2日(火)～23日(火)
春の山野草展	5月上旬
第25回写真コンテスト入賞作品展	5月中旬～7月上旬
絶滅危惧植物パネル展	7月中旬～8月中旬
東・北・南3県ポタニカルアート作品展	9月1日(日)～23日(月)
秋の山野草展	10月中旬
第26回写真コンテスト入賞作品展	10月中旬～11月下旬
野草園写真展(山形市役所)	平成32年3月中旬

観 察 会	
ガイドウォーキング	①開園期間(4月～11月)の日曜日・祝日 ②無休期間(4月第3日曜日～6月第2日曜日)の土曜日、9月の土曜日
バードウォッチング	4月13日(土)、11月
健康ウォーキング講座	4月、9月
薬草と薬膳を楽しむ健康ウォーキング	5月26日(日)、9月
四季観察会	5月1日(水)、7月中旬、10月下旬、平成32年2月中旬、3月中旬
ホテル観察会	6月28日(金)～30日(日)、7月5日(金)～7日(日)
星空を見る会	7月、8月
瀧山山麓トレッキング	8月、10月

博物館実習	
博物館実習	8月20日(火)～25日(日)

コンテスト	
第26回野草園の魅力を探る写真コンテスト	募集期間:9月1日(日)～20日(金)

体験教室	
カブトムシの育て方教室	5月6日(月)
薬草講座	5月、7月
初心者写真撮影教室	6月上旬
山野草の育て方教室	6月11日(火)、10月8日(火)
木工工作教室	7月下旬、8月上旬
テラリウム教室	7月下旬
草木染め教室	8月11日(日)
プリザーブドフラワー教室	8月下旬
ポタニカルアート体験講座	9月中旬
ハーブスワッグ教室	10月5日(土)
ガーデニング教室	10月下旬

イ ベ ント	
春の野草園祭り	4月27日(土)～5月6日(月)
お山マルシェ	7月20日(土)
市制施行130周年記念 お山フェス	9月
秋の野草園祭り	9月中旬
そり滑り	平成32年2月下旬
冬のお山の雪遊び	平成32年2月下旬

そ の 他	
開園記念 花苗プレゼント	4月1日(月)
工作コーナー	7月23日(火)～8月18日(日)
山の日記念 花苗プレゼント	8月11日(日)
きのこ汁振舞い	10月5日(土)・6日(日)
焼き芋振舞い	10月12日(土)・13日(日)

【開園時間等】

・開園時間／4月～5月 9:00～16:30
6月～8月 9:00～18:00
9月～11月 9:00～16:30

・休園日／毎週月曜日〈ただし、月曜日が祝日の場合はその翌平日〉
(4月第3日曜日～6月第2日曜日まで無休)

・冬期休園／12月～3月

・入園料／大人:300円 高校生以下:無料
○団体割引(20人以上の場合)／大人:240円

【交通案内】

・JR山形駅より山交バス路線バス蔵王・野草園行き(約30分)終点下車すぐ

・山形自動車道蔵王I.Cより西蔵王高原ラインを蔵王温泉方面へ(約15分)

・国道13号より、県道53号経由または市道三本木線経由(約10分)



山形市

野草園だより

56号

シンボルマーク
原画 阿部功雲氏

クリンソウの群生 5月中旬～6月上旬

園内にある「クリンソウの谷」の湿地にはクリンソウが群生します。
茎を30～80cmほど伸ばし、ピンク色の花を5～7段輪生状に付けるのが特徴です。
昨年は新たに1,000株を植栽したことにより、さらに見応えある谷となりました。今年
はさらに900株程度を追加する予定です。
5月の野草園は新緑が美しく次から次へと花が咲く季節です。
たくさんの野草や樹木が皆さんの来園をお待ちしています。

野草園だより

編集・発行／山形市野草園

56号／平成31年3月発行(年1回発行)
〒990-2406 山形市大字神尾832番地の3
TEL 023(634)4120・FAX 023(634)4121

野草園のホームページ
<https://www.yasouen.jp/>

春



オオヤマザクラ(バラ科) 4月中旬～下旬

東北地方以北の代表的な野生の桜です。名はヤマザクラより花や葉が大きいことによります。

ミズバショウ(サトイモ科) 4月下旬～5月上旬

西藏王に自生しています。ミズバショウとザゼンソウそれぞれ1万株が群生します。



シラネアオイ(キンポウゲ科) 5月上旬～中旬

日本固有種で多雪地の山地に生える多年草です。名は日光の白根山に多くあり、花がタチアオイに似ているからです。

夏



ヤマユリ(ユリ科) 7月中旬～8月上旬

日本固有種で本州中部から北の山地に生える多年草です。花は大輪で強い芳香があり、鱗茎は食用になります。



フシグロセンノウ(サデシコ科) 7月下旬～8月中旬

山地の日陰に生える多年草です。茎の節は太く、紫黒色を帯びています。



ノハナショウブ(アヤメ科) 6月中旬～7月上旬

湿原や水辺、山野の草原に生える多年草でハナショウブの原種です。赤紫色の外花被片の基部は黄色です。

野草園の四季

秋



キキョウ(キキョウ科) 7月中旬～9月上旬

日当たりの良い山地や野原などに生える多年草です。万葉集で山上憶良が詠んだ「秋の七草」の朝顔はキキョウだと言われています。



ハナトラノオ(シソ科) 8月上旬～9月上旬

北アメリカ原産で大正時代に渡来しました。クロアゲハなどの蝶が蜜を吸いにやってきます。



オミナエシ(スイカズラ科) 7月中旬～9月上旬

日当たりの良い山地や野原などに生える多年草です。「秋の七草」として有名です。白花のオトコエシもあります。



ウメモドキの果実(モチノキ科)

湿原の周辺などに生える雌雄異株の落葉低木です。雌株は生け花には最上級の花材となる美しい実を付けます。



トチノキの冬芽(ムクロジ科)

高さ30mほどに成長する落葉高木です。冬芽は水飴状の樹脂で覆われています。

冬

瀧山

標高1362m。蔵王連峰の山で、古くから信仰の対象とされてきました。野草園は瀧山の火山泥流によってできた西藏王高原に位置しています。



お山フェスが 大好評!

昨年から新たに「お山フェス」を開催しました。
芝生の丘や広場を主な会場として、ヨガやコンサート、キッチンカーの出店など盛りだくさんの内容でした。天気にも恵まれ、当日は駐車場に入りきれないほどの方にお越しいただき、大好評のまま終了しました。

今年は市制施行 130 周年を記念した「お山フェス」を 9 月に開催予定です。昨年以上のボリュームで企画いたしますので、どうぞお楽しみに！



最優秀



「LOVE」高橋克巳

第25回 野草園の魅力を探る 写真コンテスト入賞作品

優秀



「一緒に滑ろう!」齋藤俊幸

優秀



「シャンデリア」渡辺絵美子

第25回 野草園の魅力を探る写真コンテストの審査を終えて

第 25 回野草園の魅力を探る写真コンテストに 50 名の方より 160 点の応募をいただきました。春・夏・秋の園内の様子や美しく咲き乱れる花々や蝶などの昆虫を、優れた観察力と感性で作品として作り上げたことに感謝申し上げます。何回も野草園に足を運ばれ作り上げた努力が作品に現れており、レベルも大変高いと感じました。

最優秀賞となった高橋克巳さんの「LOVE」は光の捉え方が大変優れている作品です。カラコギカエデの葉とカワトンボのつがいの姿を美しく撮られています。二匹のトンボに射した光がなければ、このように一瞬の夏を生きるはかなくも生命力に溢れた作品にはならなかったでしょう。背景も落ち着いてすっきりとした色調で整理されており、主役を見事に引き立てています。作者の実力から考えればカメラの位置を調整してもっと下部（前部）を少なくしたかったと思われるが、なにぶん園内でもありルールを守っての撮影だったことが推測され好感が持てました。

優秀賞の齋藤俊幸さんの「一緒に滑ろう!」は野草園の主催事業のそり滑りのひとコマです。寒さにも負けない少年達の元気な姿をベストタイミングで捉えています。少年達の表情やアングルも最高の一枚です。本コンテストに限らず写真コンテストの主旨を理解して楽しい写真づくりをすることは大切なことだと思います。

同じく優秀賞の渡辺絵美子さんの「シャンデリア」は大型ハーブの一種であるルリジサを明るい露出で表現しました。白花を主役にして青花を副役に配置したことも良かったと思います。写真撮影の基本は「あっ!撮りたい!」と感じて、こころの針がピクリと振れた時に撮ることです。このことを改めて思い出させてくれる作品です。

入選、佳作にも上記の作品と順位をつけることを悩む作品が多くありました。画面構成や撮影技術が優れていても、既に発表された作品に多いモチーフなどは最終的に一つ上位に選びづらいことがあります。

今回、大変気になったことはスナップ写真が少なかったことです。最近アマチュア写真愛好家のなかで人物が入った写真はすべて許可をとらないと発表できないと思っている方がいます。これはスマホやSNSなどの普及により一億総カメラマン時代のトラブルやプライバシー保護の観点がずれた混乱が一因になっていると思っています。従来から撮影場所や被写体に配慮し安全等のルールを守った撮影や発表は当然のことであり守られてきました。公共・公開の場で普通の状態にいる人物を撮影することは肖像権の侵害にはあたりません。

先人達が連綿と積み上げてきたスナップ写真を守っていくためにも私達の正しい理解と努力が必要です。

平成30年10月20日
審査員代表 軽部 治悠紀

アサギマダラが北海道から来園しました

昨年、初めて北海道から飛来したアサギマダラを確認することができました。来園者が撮影したアサギマダラの翅に「ハコダテ」の文字が見つかったからです（写真）。

アサギマダラの生態には不明な点が多いため、全国的にマーキング調査が行われています。

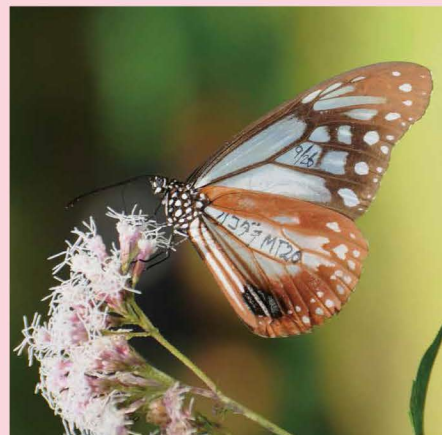
マーキングのネットワークを通じて記入者を探したところ、「道南虫の会」の対馬誠氏が松前町で記入したことが判明しました。対馬氏は仲間と 20 年前からマーキングをしていましたが、山形で確認されたのは今回が初めて、全国でも 5 例目とのことで感激しておりました。

長距離を移動する蝶として知られるアサギマダラは、5 月頃に日本列島を北上して蔵王にやって来ます。そこで卵を生んで世代交代し、9 月頃に成虫となって再び南下して行きます。

蔵王に自生するヨツバヒヨドリの仲間であるフジバカマは秋の七草のひとつで、アサギマダラが花の蜜を吸います。毎年、園内の「七草の庭」に株分けをしてフジバカマの面積を拡大していることにより、最近ではピーク時（9 月 20 日頃）に約 200 頭もの乱舞が見られるようになりました。

9 月に野草園を訪れる際には、フジバカマに飛来する蝶たちを観察してみてください。そしてアサギマダラの翅にマーキングを見つけた場合はお近くの職員へご連絡ください。

※園内でのアサギマダラの捕獲・マーキングはご遠慮いただいております。



標識：9/26 ハコダテ MT 20
(9 月 26 日にハコダテで MT 氏が記入した 20 頭目、の意味)

野草園の魅力を探る

第26回

写真コンテスト作品募集

募集期間

平成31年 9月1日(日)～9月20日(金) ※当日必着